



開物成務

令和5年 6月15日(木)発行

校長 津田 千由美

学校生活に潤いを

6月に入り、本格的な梅雨の時期に入りました。6月1日の交通安全指導の折、歩道橋下で教育長さんが子どもたちの登校の見守りをしてくださいました。その折、

「開成小学校の子どもたちは挨拶もすてきですが、会釈のできるすてきさんも多くいますね」と、お褒めの言葉をいただきました。目と目が合ったら会釈をするというのは、とても気持ちの良い所作です。「あなたのことを大切に思っています」という気持ちが伝わります。まさに、「挨拶は思いやり」です。

さて、本日は「学校公開日」です。マチコミによる通知をお読みいただき、感染対策も考慮しながら、ぜひお子様のがんばりをご覧いただけたら嬉しいです。お待ちしております。

あじさい給食&本となかよし給食

6月10日(土)から「開成町あじさいまつり」が始まりました。開成小学校のあじさいブースもちょうど見ごろを迎えています。これに先立ち、6月9日(金)には「あじさいご飯」が、給食で提供されました。

白米に黒米を混ぜて炊き上げることで、あじさいのようなきれいな紫色になるのだそうです。仕上げに鮮やかな緑色の枝豆を混ぜて、あじさいの葉の色を表現しました。

また、6月6日(火)には、「本となかよし給食」が提供されました。6月にちなんで、「かえるのレストラン」。この絵本は、学校図書館司書の渡辺さんと一緒に選定したそうです。絵本に登場するかえるの「ルー」が店長のレストランにはいろいろなお客さんがやってきます。「うずまきパン」はかたつむり君のお気に入り。挿絵とそっくり同じ形のうずまきパンを給食に出してくださいました。きっと、子どもたちは「どんなお話かな」と、思いを馳せながら食したことでしょう。

柳川栄養教諭は、年間を通じて季節や学校の行事に合わせた献立を工夫しています。「食べることはただお腹を満たすことにとどまらず、生活に潤いと楽しさを与えています。



リモート交流会~6月6日~

かいせい学級の子どもたちが町内の小中学校の仲間と共に「リモート交流会」を行いました。中継場所が3つの小中学校で順に入れ替わり、一人ひとりの自己紹介から始まりました。

「恥ずかしいよ、言いたくないよ」

と少々尻込みしていた子どもも、

「ぼくの名前は〇〇です。好きな食べ物は〇〇です。好きな遊びは〇〇です」

と、手作りの自己紹介カードを見せながら発表することができ、やり遂げた達成感が伝わってきました。

また、以前共に学んだ仲間が映ると

「〇〇さんだ!」

と、食い入るように画面を見つめ、激励の拍手を送る姿も見られました。

リモートによる良さを生かしつつ、互いの交流を深めることができました。



学校クイズ 6月1日~

児童会の企画委員会が、1年生の入学を記念し、6月1日から「学校クイズ」を開催しました。図書室や保健室、校長室などの場所に、「ある文字」が隠されており、それらの文字をつなげていくと「ある言葉」ができあがるという仕組みです。学校探検をしながら学校のいろいろな場所を覚えてもらうことが目的です。

さて、どんな言葉ができあがると思いますか? ヒントは、6月28日に行われる学校行事です(正解は、お子さんに聞いてみてください)。休み時間になると、子どもたちが楽しそうに学校中を探検していました。外遊びがなかなかできない今の時期にはぴったりの企画でした。



1年生
おめでとう集会
「クイズ」風景

学校運営協議会～6月8日～

第1回学校運営協議会が開かれました。

子どもたちの健全な育成のために、地域や保護者の代表の方々にも学校運営に参加していただく大切な会議です。

第1回めは5校時の授業を参観していただき、その後感想やご意見をいただきました。

○1年生の鍵盤ハーモニカの基礎の学習や2年生の体全体を使った楽しい音楽、

6年生のダイナミックな合奏など、発達段階に応じた指導が丁寧に行われている。

○スクールコーディネーターとして水泳学習に携わっているが、安全第一の視点から保護者ボランティアの方々の協力が大変力になっている。

△廊下を走っている子どもを多く見かける。大変危険であるので改善したい。

△ベランダに出ることは禁止されているが、ベランダの柵が低いことが気になる。

いただいた貴重なご意見は今後の学校生活に生かし、特に安全面への配慮は迅速に行っていきたいと考えます。ありがとうございました。

令和5年度	学校運営協議会委員
委員長	石崎 雅美 様(主任児童委員)
副委員長	三橋 修 様(自治会長代表)
委員	露木 明美 様(学識経験者)
委員	小砂 幸彦 様(スクール・ボランティア・コーディネーター)
委員	宮上 透 様(PTA会長)
委員	小林 裕史 様(教育委員会)

教科書展示会のお知らせ

教科書展示会では、小・中学校等で使用している教科書を閲覧することができます。

学校関係者以外の方も閲覧可能ですので、関心のある方は是非お立ち寄りください。

◇期間・時間 令和5年6月27日(火)～7月14日(金) *土日除く 9:00～17:00

◇会場 足柄上合同庁舎 本館2階 教科書センター
小田原合同庁舎 2階 2FG会議室

開成小あじさい、見頃です



「人間の脳は大きく3つに分かれています。1つめは「ヘビの脳」。この脳は、食べたり、眠ったり、息をししたり、まさに生きることをつかさどる働きをしています。ヘビやトカゲなどの爬虫類は、この脳しか持っていないので「ヘビの脳」と呼ばれています。2つめは「ねこの脳」。これは、悲しい、嬉しい、悔しいなどの感情をつかさどる脳です。猫や犬、牛などが持っている脳です。最後に「人間の脳」。これは、言葉を発したり、覚えたり、学習したりする脳です。人間しか持っていない脳です。意地悪をされたり、嫌な言葉を言われたり：そんなことが続くと、この3つの脳のうち「ヘビの脳」がダメージを受けやすくなります。「いじめ」は心を傷つけるだけでなく、生きる力も奪ってしまうのです。だから、絶対にいじめをしてはいけません。」

朝会で子どもたちにこんな話をしました。その後、子どもたちから、たくさん感想が寄せられました。

「わたしは、やっぱりいじめはだめだなと思いました。きょうだいでも友達でも、いじめるのは絶対にダメだって、本当にわかりました。あの話を聞いてよかったです。私は、家族にも友達にもいじめないって、自分に約束をしました。(3年生)」

「わたしは今日の話を聞いて、いじめをしないようにしようと思いました。いじめをすると、人の心が傷ついたりして、自分がいやになってくるからやめた方がいいと思います。大人になってからも、人が嫌だと言う言葉を言わないように、人の気持ちを考えて言葉を言おうと思います。(4年生)」

「今日の朝会では、たった一言が人の心をあたためる」という言葉を、本を読んだ後に言ってもらい、とてもすてきな言葉だなと思いました。人を傷つけることで、悲しい思いをする人がいっぱいいる。だからこそ、困っている人がいたら助けたいと思いました。(6年生)」

どの感想にも、子どもたちの優しい気持ちや言葉があふれていました。誰もががじめの加害者にも被害者にもなる可能性があります。子どもであつても、「困っている」「しんどい」「つらい」のような否定的な言葉は、なかなか言い出せないものです。でも、子どもは、大好きな親が機嫌よく自分の話を聞いて共感してくれるだけでストレスが減ります。そして、人のことが考えられるようになります。

6月は不安定な季節：時には辛さやしんどさを誰かに吐き出して、心のメンテナンスをすることが、大人にも必要かもしれません。

子どもの前では、機嫌のよい大人でいたいものです。

わたしのひとりごと

